

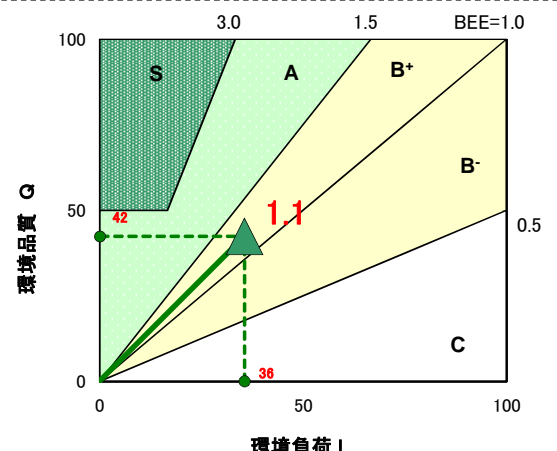



CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム「喜寿園」	階数	地上1F		
建設地	熊本県菊池郡大津町大字室字桜山	構造	S造		
用途地域	都市計画区域(区域区分非設定)、	平均居住人員	65人		
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年		
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2016年5月 予定	評価の実施日	2016年1月22日		
敷地面積	13,274 m ²	作成者			
建築面積	2,643 m ²	確認日	2016年1月25日		
延床面積	2,467 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			
		BEE = 1.1	
		$\text{BEE (環境効率)} = \frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$	
ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)		排出率	
		79%	

■ 環境効率評価基準				
ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準	
判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点	
		80	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	81.8	■ 熊本県重点評価基準	
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	82.5	100点以上	
【重点事項4】 循環型社会の実現	89.9	80点以上100点未満	
		60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE® 熊本《新築》 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム『喜寿園』	階数	地上1F
建設地	熊本県菊池郡大津町大字字桜山	構造	S造
用途地域	都市計画区域(区域区分非設定)	平均居住人員	65人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年5月 予定	評価の実施日	2016年1月22日
敷地面積	13,274 m ²	作成者	
建築面積	2,643 m ²	確認日	2016年1月25日
延床面積	2,467 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184 (kg-CO ₂ /年・m ²)	100%
②建築物の取組み	46	79%
③上記+②以外の	92	79%
④上記+	138	79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	2.2
温熱環境	2.3
光・視環境	3.0
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

機能性	2.7
耐用性	2.9
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.7
効率的	2.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の	3.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.8
地域環境	2.8
周辺環境	3.2

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 **評価点 = 80**

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 **評価点 = 81.8**

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 **評価点 = 65.0**

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 **評価点 = 82.5**

重点事項4: 循環型社会の実現 **評価点 = 89.9**

重点事項の評価(レーダーチャート)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

開放的な空間の提供と周辺環境へ配慮したデザインをした。

Q1 室内環境

使用建材はF☆☆☆☆を採用し、化学汚染物質被害を防止する。
トップライト・中庭により採光を取り入れられるように設計した。

Q2 サービス性能

住居部は天井高を2.5m、面積を10m²以上にし開放的な空間を提供できるようにした。

Q3 室外環境（敷地内）

中庭を設け、外部空間と内部空間をうまく連続させるような計画としている。

LR1 エネルギー

窓部に省エネルギー性の高いペアガラスを採用し、熱損失、熱取得の低減に努めた。

LR2 資源・マテリアル

資源の有効活用のため、フライアッシュセメント、再生クラッシュラン、節水型機器の採用をした。

LR3 敷地外環境

駐車場を敷地内に設け、周辺の交通負荷の抑制に努めた。

その他

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境			0.40		-			2.8
1 音環境		2.2	0.15	2.2	1.00			2.2
1.1 騒音	【共用部】ロビー:50 【住居部】寝室・客室:40	3.0	0.40	4.0	0.40			
1.2 遮音		1.0	0.40	1.0	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	0.40	1.0	0.30			
2 界壁遮音性能		1.0	0.60	1.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	1.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.3	0.35	2.3	1.00			2.3
2.1 室温制御		2.5	0.50	2.5	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		1.0	0.25	2.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		2.7	0.25	3.6	1.00			3.0
3.1 屋光利用		3.2	0.30	4.2	0.30			
1 屋光率	【共用部】1.15 :【住居部】5.15	2.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 屋光利用設備	【共用部】トブライト・中庭	5.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30			
1 屋光制御	【住居部】庇・カーテン	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	【住居部】0.173(>0.10)	-	-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	老人ホーム用途	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.9
1 機能性		2.2	0.40	4.0	1.00			2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	【住居部】10.95㎡以上	-	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40			
1 広さ感・景観	【住居部】天井高:2.5m	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.30	3.8	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	4.6	0.50	
1	階高のゆとり	階高:4.0m	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率【共用部】:0.16【住居部】:0.27	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材だけでなく仕上げ材を痛めることなく更新、修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく更新、修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.69	3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			4.7	0.50	-	-	4.7
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEF=0.75	4.7	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水こま、節水型便器の使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.9	0.60	-	-	3.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		フライアッシュセメント	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン・再生密粒度アスファルト混合物	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が錯綜しない	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		高効率設備・LED照明の採用	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		屋外照明及び広告塔照明は光害対策ガイドラインの過半を満足	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

建物名称

(仮称)特別養護老人ホーム『喜寿園』グループホーム『光喜園』

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		80
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				81.8	0.40	32.72
Q1-2.1.2	外皮性能	1.3	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	4.4	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.6	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.7	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	2.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				89.9	0.20	17.98
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数